

平成29年度

学校経営方針

大阪市立豊里小学校長 桝木 弘司

豊かな人間性とたくましく生きる力を育てる教育実践を推進する

1. 本校の教育目標（校訓）

- ねばり強い子
- よく考える子
- 明るい子

2. めざす子ども像

子ども達が胸を張ってこの豊里小学校が好きだと言え、この豊里小学校の児童であることを誇りに思うことができるよう、子ども達一人一人の個性を大切にし、その個性を積極的に伸ばすとともに、子ども達の自己抑制力や自律心、おもいやりの心の育成に努める。

生活指導部が中心となり、めざす子ども像を『豊里っ子宣言』として策定した。

これは、子どもの立場からは「このような子どもになります」という宣言であり、教職員の立場からは「子どもたちの手本となり、このような子ども・豊里っ子を育成します」という宣言である。

今年度も、継続し『豊里っ子宣言』の3つの子ども像をめざす子ども像に掲げる。

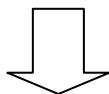
《 豊里っ子宣言 》

- すすんで気持のいいあいさつをする子
- 友達を大切にする子
- 人の話をしっかり聞く子

3. 本校の重点課題

《 魅力ある学校づくりの推進 》

- (1) 地域や保護者のニーズにこたえる教育活動の推進
- (2) 地域の教育情報発信基地をめざし、開かれた学校づくりの推進
- (3) 一人一人の児童が本校の児童であることを誇りに思うことができる教育活動の模索と実践



次のことに取り組もう(具体的方策)

(1) 保護者や地域社会と十分な連携を図り、子ども達の教育のための望ましい協働体制を構築する。

(2) 土曜授業や様々な行事などを公開するだけでなく、ホームページやメール、各種通信を通じて、本校教育活動の積極的な情報の発信に努める。

(3) ①学習環境整備のための「きれいな学校づくり」
奉仕の精神を養うとともに、学習に専念できる環境をつくるために清掃活動に力をいれる。

⇒まず、私たち教職員が1つのゴミを拾おう。

②道徳心や社会性の向上をめざした「あいさつ運動」
素直な心で、自らすすんでしっかりとあいさつや返事のできる児童を育てる。

⇒まず、私たち教職員がしっかりとあいさつをしよう。

③一人ひとりを大切にした教育の実践
成就感や達成感を味わうことのできる取り組みを通して、児童の心に自尊心とともに他者を大切にする気持ちを育てる。

⇒まず、私たち教職員がしっかりと子どもをほめよう。

④「わかる」「できる」「楽しい」授業の創造
習熟度別少人数授業等を有効に活用し、主体的に学習に取り組み、友だちとともに伸びようとする児童を育む教科指導を深化・充実させる。

(様式 1)

大阪市立豊里小学校 平成 29 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

○全国学力学習状況調査の結果は残念ながら算数・国語とも、大阪市平均を下回っており、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果も押しなべて低い。しかし、校内に大きな荒れはなく、児童は学校生活や学習に対する取り組みは真面目に一生懸命に取り組んでいる。

○児童質問紙やアンケートの結果から、自他の尊重や自尊心・自尊感情の成熟といった精神面、情緒面での未成熟さが顕著に表れている。こうした心の未成熟さが、学習や運動に対する取り組みにも大きく影響している。

○さまざまな取り組みを含め本校の学校運営に対して、保護者や地域は比較的高く評価してくれている。ただ、地域に対する帰属感は薄れ始め、それが地域の教育力の低下につながっている。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

○平成 29 年度～32 年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を毎年 95 % 以上とする。

(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

○平成 32 年度末の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 90 % 以上にする。

(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

○毎年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を 0 にする。

(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

○毎年度末の校内調査において、不登校の児童の割合を、毎年前年度より減少させる。

(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

○年度末の校内調査における「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を毎年前年度より向上させる。

(施策 2 道徳心・社会性の育成)

○年度末の校内調査における「将来の夢や希望を持っていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を毎年前年度より向上させる。

(施策 2 道徳心・社会性の育成)

○平成 32 年度末の児童アンケートにおける「『豊里っ子宣言』を守っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 90 % 以上にする。

(施策 2 道徳心・社会性の育成)

○平成 32 年度末の児童アンケートにおける「しっかりと清掃活動をしている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 90 % 以上にする。

(施策 2 道徳心・社会性の育成)

○平成 32 年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える保護者の割合を 90 % 以上にする。

(施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

○平成32年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、いずれの学年も平成28年度より向上させる。

(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

○平成32年度の小学校学力経年調査における正答率3割以下の児童の割合を、いずれの学年も平成28年度より向上させる。

(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

○平成32年度の小学校学力経年調査における正答率7割以上の児童の割合を、いずれの学年も平成28年度より向上させる。

(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

○平成32年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を平成28年度より向上させる。

(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

○平成32年度末の児童アンケートにおける「英語の勉強は楽しい」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。

(施策6 国際社会において生き抜く力の育成)

○平成32年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における合計得点で、大阪市平均を上回る。

(施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)

○平成32年度末の児童アンケートにおける「給食・手洗い」の2項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。

(施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成29年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上とする。 (施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 平成29年度末の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を75%以上にする。 (施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 平成29年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を0にする。 (施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 平成29年度末の校内調査において、不登校の児童の割合を、前年度より減少させる。 (施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

学校園の年度目標

- 平成29年度末の校内調査における「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を70%以上とする。 (施策2 道徳心・社会性の育成)
- 平成29年度末の校内調査における「将来の夢や希望を持っていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を70%以上とする。 (施策2 道徳心・社会性の育成)
- 平成29年度末の児童アンケートにおける「『豊里っ子宣言』を守っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を75%以上にする。 (施策2 道徳心・社会性の育成)
- 平成29年度末の児童アンケートにおける「しっかりと清掃活動をしている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を75%以上にする。 (施策2 道徳心・社会性の育成)
- 平成29年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える保護者の割合を75%以上にする (施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成29年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成28年度より向上させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 平成29年度の小学校学力経年調査における正答率3割以下の児童の割合を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成28年度より向上させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 平成29年度の小学校学力経年調査における正答率7割以上の児童の割合を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成28年度より向上させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 平成29年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成28年度より向上させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 平成29年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における合計得点の記録を、前年度より向上させる。 (施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)

学校園の年度目標

- 平成29年度末の児童アンケートにおける「英語の勉強は楽しい」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を75%以上にする。 (施策6 国際社会において生き抜く力の育成)
- 平成29年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査の児童アンケートにおける「普段の体育の授業の目標設定とふり返り」の2項目について、大阪市平均を上回る。 (施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)
- 平成29年度末の児童アンケートにおける「給食・手洗い」の2項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を75%以上にする。 (施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)

(様式例 2)

大阪市立豊里小学校 平成 29 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○平成 29 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95 % 以上とする。 (施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)</p> <p>○平成 29 年度末の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえどあてはまる）」と答える児童の割合を 75 % 以上にする。 (施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)</p> <p>○平成 29 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を 0 にする。 (施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)</p> <p>○平成 29 年度末の校内調査において、不登校の児童の割合を、前年度より減少させる。 (施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○平成 29 年度末の校内調査における「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえどあてはまる）」と答える児童の割合を 70 % 以上とする。 (施策 2 道徳心・社会性の育成)</p> <p>○平成 29 年度末の校内調査における「将来の夢や希望を持っていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえどあてはまる）」と答える児童の割合を 70 % 以上とする。 (施策 2 道徳心・社会性の育成)</p> <p>○平成 29 年度末の児童アンケートにおける「『豊里っ子宣言』を守っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえどあてはまる）」と答える児童の割合を 75 % 以上にする。 (施策 2 道徳心・社会性の育成)</p> <p>○平成 29 年度末の児童アンケートにおける「しっかりと清掃活動をしている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえどあてはまる）」と答える児童の割合を 75 % 以上にする。 (施策 2 道徳心・社会性の育成)</p> <p>○平成 29 年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえどあてはまる）」と答える保護者の割合を 75 % 以上にする。 (施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 ○ 『豊里っ子宣言』を中心に据え、児童にとって安全・安心な学校づくりのための取組みを行う。	
指標 ○ 『豊里っ子宣言』の3つの目標を達成するために、学期毎に1つずつ目標達成のための重点期間を設け、取組みを行う。 ○ 遅刻・不登校を減少させるため、児童や家庭に働きかけるための連絡・支援・指導の方法を新たに策定し、全職員の共通理解のもとで働きかけが継続的に行われるようとする。	
取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】 ○ 自他のちがいを認め、互いを大切にする気持ちや自己有用感を育むための児童中心の取組みが多く行われるよう、計画・支援・実行していく。	
指標 ○ 学期1回以上のたてわり班での異学年交流を行う。 ○ 『豊里っ子宣言』が目指す学校づくりを行うための児童会活動・学級活動等の取組みに、全児童が1回以上主体的に参加する。	
取組内容③【施策2 道徳心・社会性の育成】 ○ 月ごとに美化目標を設定し、学級ごとに重点的に指導・実践していく。	
指標 美化委員会を中心に毎月美化目標を設定し、各学級に集会やポスターなどで呼びかける。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式例 2)

大阪市立豊里小学校 平成 29 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○平成 29 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成 28 年度より向上させる。 (施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)</p> <p>○平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 3 割以下の児童の割合を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成 28 年度より向上させる。 (施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)</p> <p>○平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 7 割以上の児童の割合を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成 28 年度より向上させる。 (施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)</p> <p>○平成 29 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成 28 年度より向上させる。 (施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)</p> <p>○平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における合計得点の記録を、前年度より向上させる。 (施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成)</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○平成 29 年度末の児童アンケートにおける「英語の勉強は楽しい」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 75 % 以上にする。 (施策 6 国際社会において生き抜く力の育成)</p> <p>○平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査の児童アンケートにおける「普段の体育の授業の目標設定とふり返り」の 2 項目について、大阪市平均を上回る。 (施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成)</p> <p>○平成 29 年度末の児童アンケートにおける「給食・手洗い」の 2 項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 75 % 以上にする。 (施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 習熟度別少人数学習の有効活用や「さんさんタイム」実施・I C Tの活用などにより、基礎的・基本的な学習内容の定着にむけた取組みを行う。 <p>指標○ I C T機器を活用する場面を週1回以上設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、各学級の実態に応じた「さんさんタイム」を週1回以上継続して行う。 	
<p>取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動を充実させ、意見交流を活性化させるための指導方法や指導材の工夫を行う。 <p>指標 各学年、年間1回以上の公開授業、討議会を通して授業内容の改善を図り、成果は紀要にまとめる。</p>	
<p>取組内容③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館の集団貸出を利用したり、学校図書館・学級文庫を整備したりし、授業に活用する。 <p>指標 図書館の集団貸出を利用したり、学校図書館・学級文庫を授業で活用したりする機会を年間2回以上設ける。</p>	
<p>取組内容④【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ さまざまな部会を通して研究を深め、分かりやすい授業の創造を目指す。 <p>指標○ 公開授業・討議会・実技研修会等を計画的に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 週1回以上I C T機器を活用した英語モジュールタイムを計画・実施していく。 	
<p>取組内容⑤【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ なわとびギネス・耐寒かけ足に加え、運動強化月間を設定し体力の向上を目指す。 <p>指標 年3回の運動強化月間を中心に、なわとびギネス、耐寒かけ足も計画的に取り組む。</p>	
<p>取組内容⑥【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童それぞれが自分の課題をもって体育の授業に取り組めるようにする。 <p>指標 毎時間の体育の授業で目標設定とふり返りの時間を確保する。</p>	
<p>取組内容⑦【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 給食週間や栄養指導等を通じて食への関心を高める。 ○ 手洗い重点週間を設けるなど手洗い指導を実践し、健康への関心を高める。 <p>指標○ 各クラスの年1回以上の栄養指導や、給食委員会で給食を残さず食べることをよびかける取り組みをするなど、活動を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 健康委員会による毎週の健康チェックや、年3回の重点週間を実施し、手洗いを意識づける。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	